

圖畫

和漢船用集

六

特別
△ 8
467
5





山 8
467
5

獵船之部 目錄

獵船

海吉の舟

海吉の舟

海人の舟

船艦

仲の舟

物派船

トモフト

繩舟

カニコ

細の舟

海人の舟

海吉の舟

海人の舟

海吉の舟

波の舟

漁船

コタイキ

手操船

獨木刺舟

葉舟

葉舟

海吉の舟

海人の舟

浦の舟

秋の舟

小漁舟

カニコ

細操船

海嶽船



口莫公用集

卷之六 目錄

〇

りさか舟	網梭船	轉網船
暹網船	逐網船	罩網船
江網船	澹網船	船網船
叔網船	絲網船	剪網船
えそ舟	石花舟	蜆舟
蛤舟	鳥貝舟	猪牙舟
狩網舟	鳥嘴船	鷓鴣船
鶺鴒舟	鶺鴒舟	箱舟
坐罾船	夜川舟	舟艦般
撒網船		

和漢船用集卷第六

河海江湖獵船之部

易繫辭曰庖犧氏結繩而為網罟田以漁ハキキシハクシテウラシメコトカシテチキリスと云ふなり
 是又用の船大小と別く河海江湖と別く獵船と云ふ獵レウセン
 船の名も一々多く小船を別く魚子曰數罟不入洿池モウシニサクコスハシラヒニギヨ
 鼈不可務食也ベツアガテクシラフは古者網罟必用四寸之目魚不滿尺イニシハハモウコモモエ
 市不得踰人不得食シニヒサクハラフといふなり今も大網繩を以てあるヲホアミナハ
 者を目守あり一々も用の船は後々シタカフ考繩ヲナワ考系ヲイト
 て仍る目の大小廣狭ありヒロセニ

新和撰
 いとくとも於此の部の捕舟の網の目はけき一ひもさるるなり

我々ハあまのいさり大なるかみりくろくき浦のつとみハ

新渡於き

梓弓いろは此浦よりあまのめよりけりくろくねきく式

塘網ハ引あまなり方一里よりけをあらして引後子板を
網の網よりけを足網舟のけけを網舟に用籠船よりけけを舟
より網より海の中よりあまのり陸よりあまのりひて破るへ
引是を地網と云又仲網ハ船より引まりて是を網乃
通は籠船より人船よりき感ハ聲をきりて航の是を
あひさの声と云あまの滑りよき竹よりあまの面を
おおとろくしを網の中へ入しむもよき和漢に
よはし

万葉

あまのいさりのあまのいさり大なるかみりくろくき浦のつとみハ

新渡於き

浦人乃こりけり人より網の志のむそ舟のあまのり

又本

純の海は網より網れおきりけりくろくねきく式

又本

いせの海は海士のけけ繩けりくろくねきく式

新渡於き

伊勢の海は網のけけ繩我方よりあまのりくろくねきく式

文選西征賦曰其鼓柁廻輪灑釣投罔每餌出入挺又未
往織經連白鳴根注曰織經連白網也連白以白羽連
綴經其上於水中二人對引之說文曰根高木也以長木
叩船為聲言曳織經於前鳴長根於後所以驚魚令

入細也

玉

浮橋は海やあまの渡りもくちのほろほろとて

及系泰程

和漢の情とのうらとて同漢は白羽を連と云者も羽とけ縄
よ分る也是とけ羽とよめり三人對して引とらる大綱より
あつと 本邦樽細と云者細のうけ縄は樽の羽とけ
舟二艘うらとを引又一艘の舟うらと二人對して細を
おく是とけ小魚と云の細也又織経あま引長根後
よゆと云八海中の大綱也又船一二隻を用細と云めり
孫まゝ水中に入れて十人をもりして引細と云算引と云
まて漢獵は用る所の船を集めて

和漢船用集卷第六

金澤兼光編集

河海江湖獵船之部

獵船

魚船 郷談 打魚船 水許傳 捕魚船 正音 並小曰

九海中の獵船その大なる者又六十五程の舟よ
まへへりて舟の中余の仕切を又加後上船は舟よ
よ変るをけりて舟を舟の四よか入せしめしりて
魚ととりつりたり生魚舟也又箭と云いりて
よと和漢ともよ同

水許傳は曰大に裏漢船船尾用半截大孔放し水出
ハ養着活魚却把竹笆篋擱住此船船裏活魚

往來養放活魚と云くは是れに楫船のいけす

と云はは楫船の舟ハ仲細ハ楫船の中の大船二隻

と用内ハ絞車と立船ハ碇ありしころは楫船はて

後車とまいて楫船より是を引小船ハ細れ也り此等

船と云き又行りくは面をお魚としてよけさ

しむ是漢ハ長糧後ハ鳴と云者ありし是亦皆

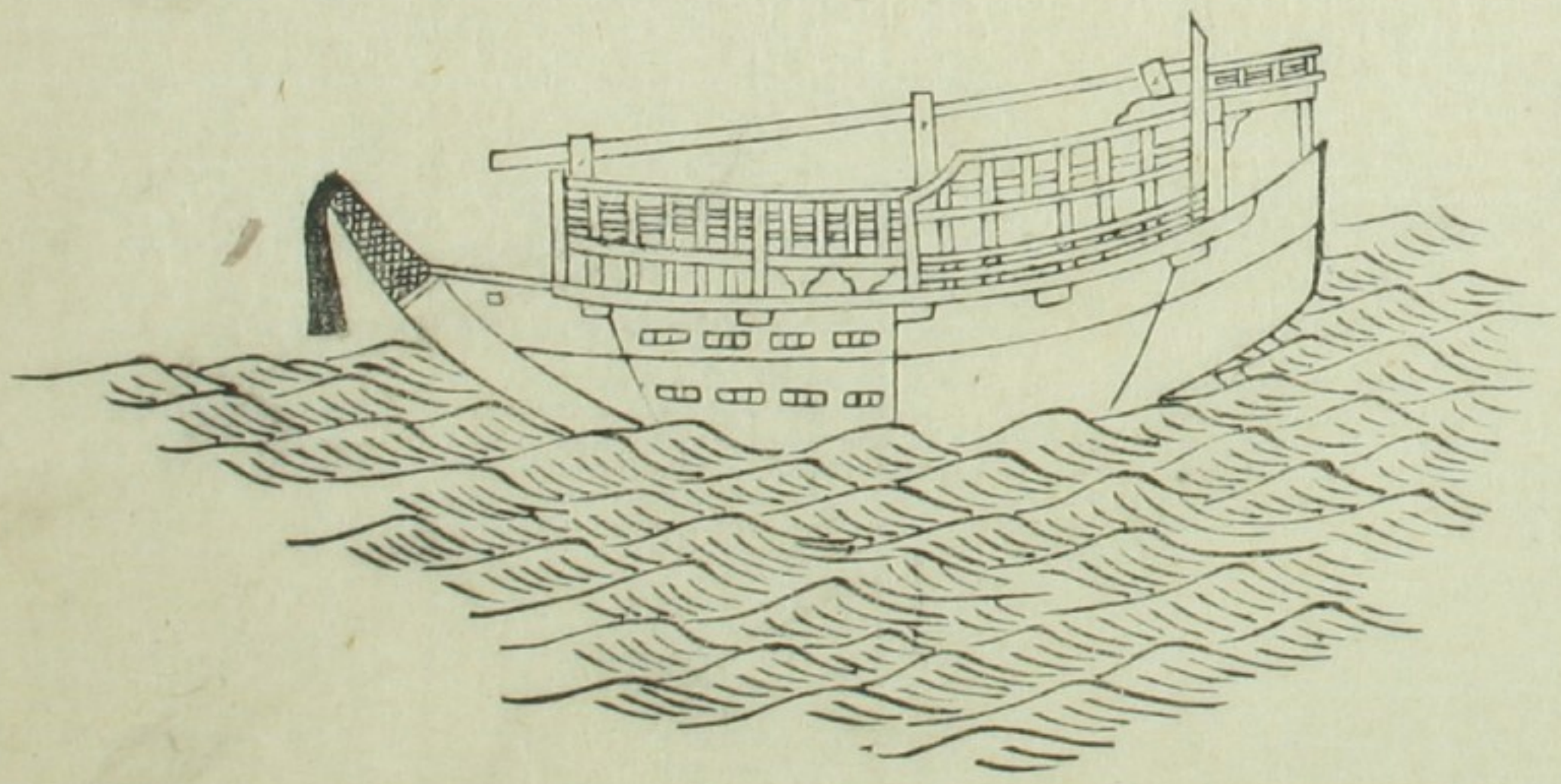
小船と用楫船と云ハ大船小船よりは河海に

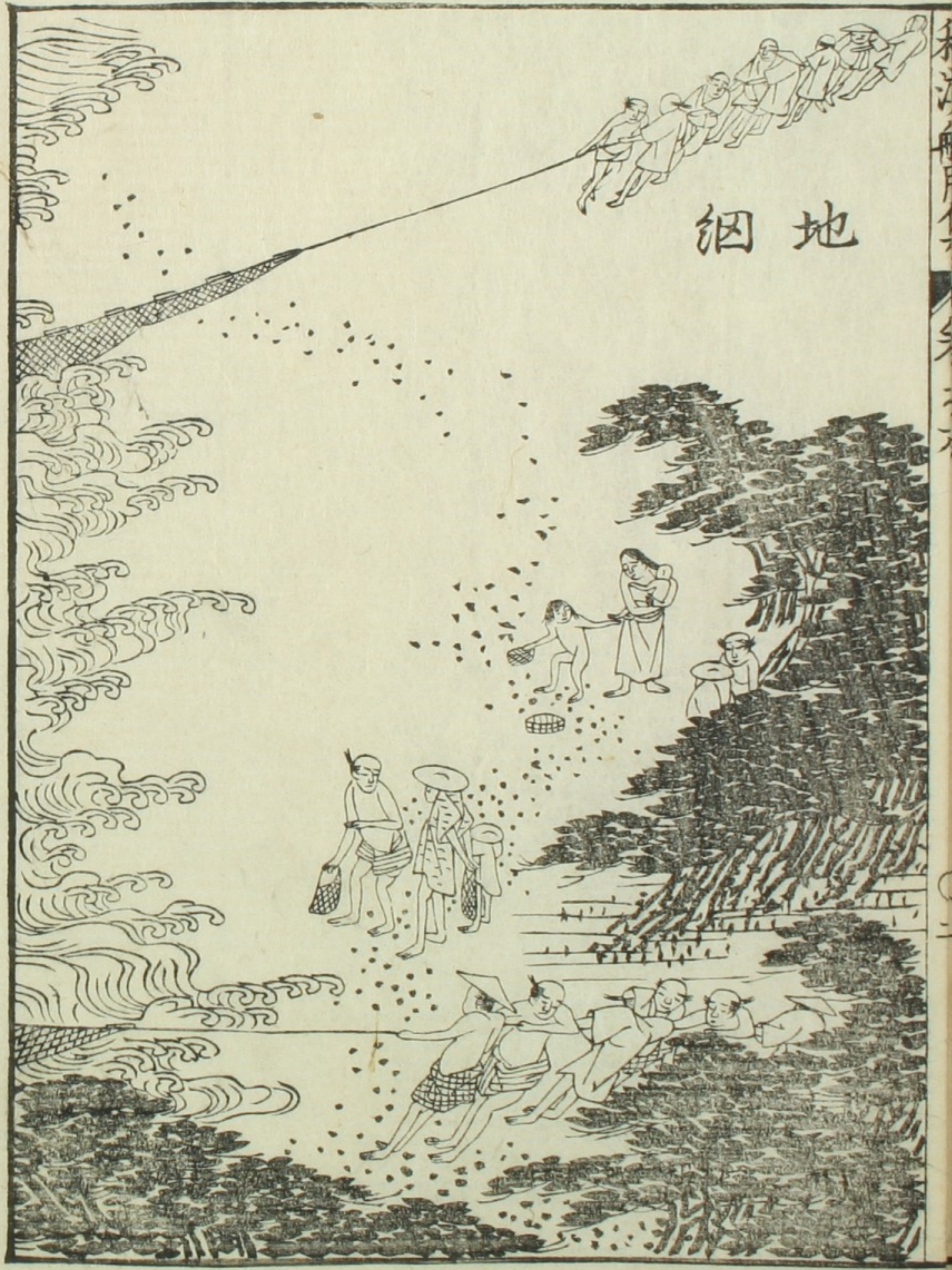
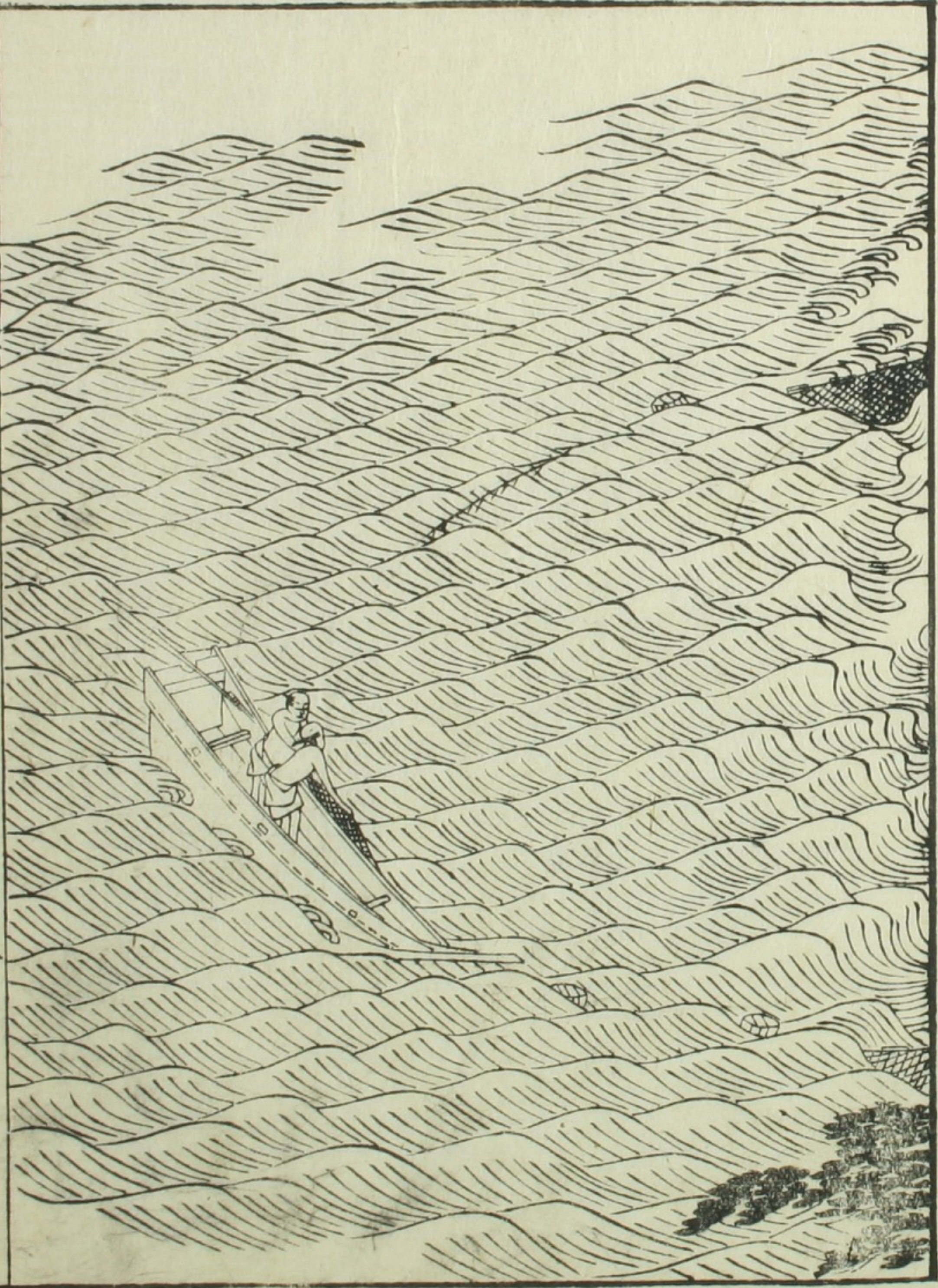
如ともは楫船と云る船の惣名也

ま本 西行

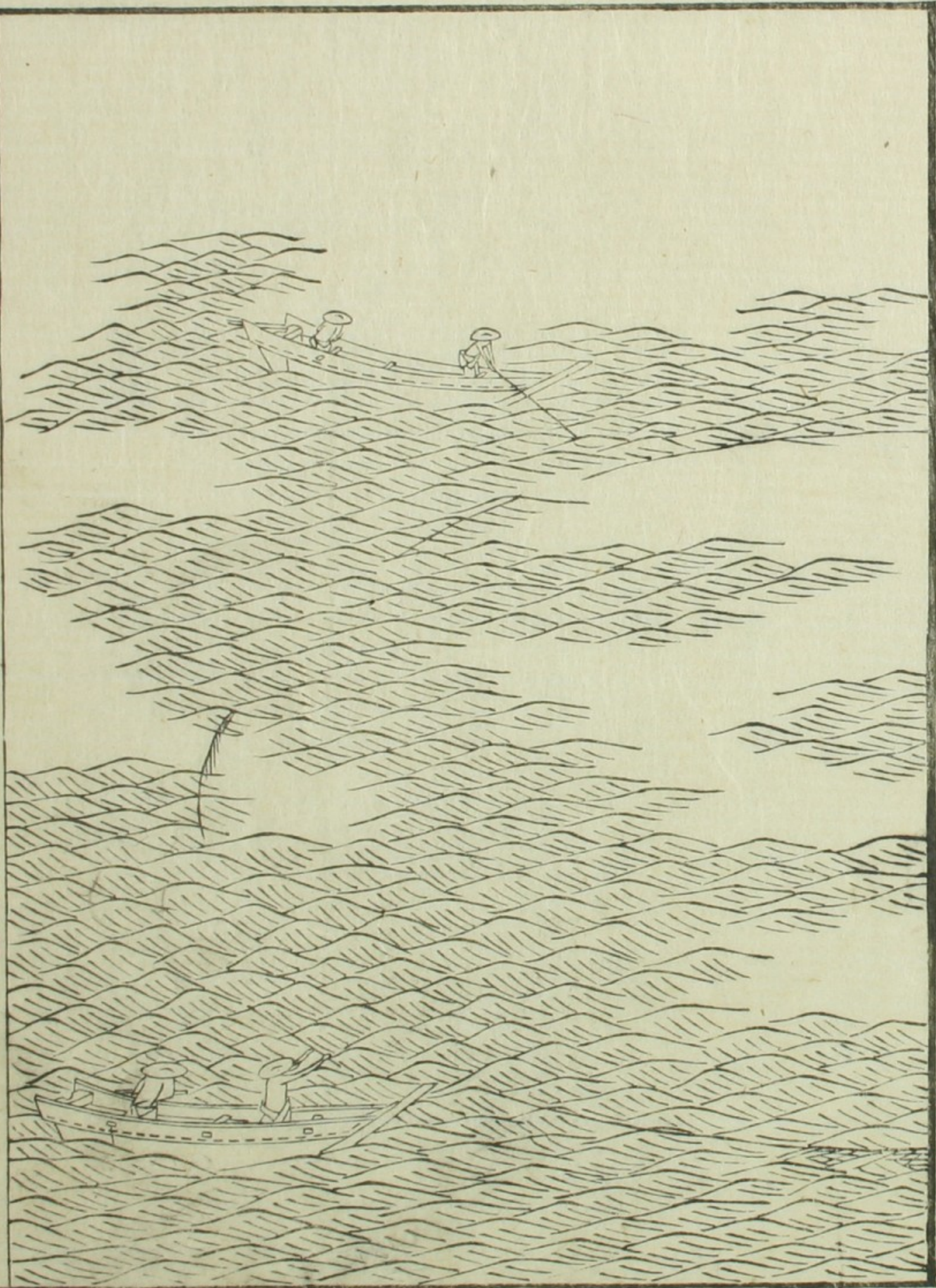
宇治川の子殿と云ふは是れ船のるきはらるる船也

御船

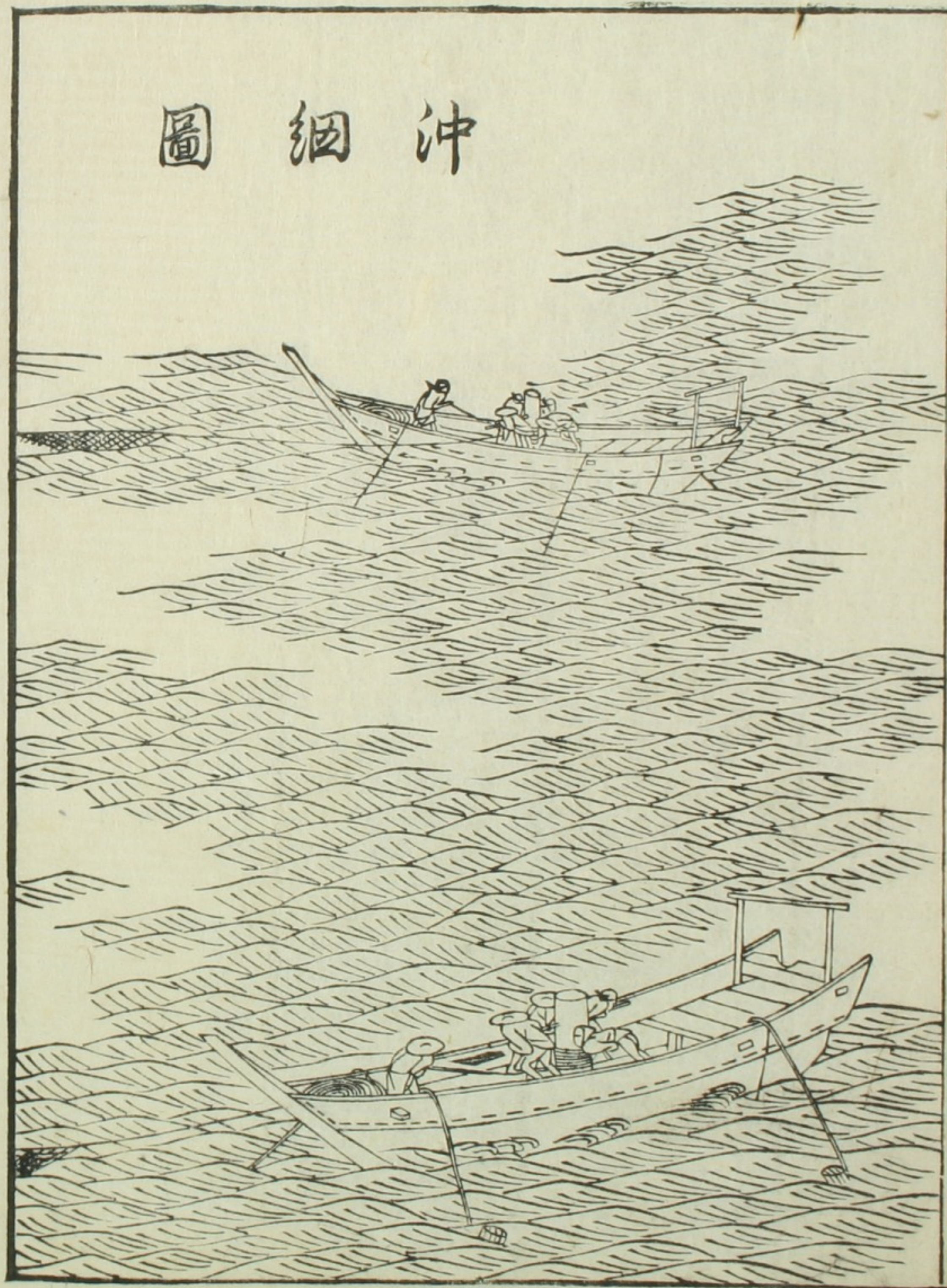




細地



沖細圖



網のうき船

大網の八船とありけとさうゆへくより

夫本

網の浮舟仲れうけ舟をよとよありもあま

在長船

散本

新波方浦れ船きう船もせとよとみうめつれ船

後船

夫本

ひく塩のつとけ舟波るりかうとゆへて

好百親王流中船

蟹舟

又海士舟 海人船 阿麻丈称 万袋

蟹家船 眉公雜字 蟹船 海槎餘録

後船

浮船と世にうと海の海士舟の初末ありぬ

伏見津御製

海士舟

とれとわは海士の船とありぬ

道船

海士船

海士の船とありぬ

蟹舟

秋風まきとせとてうけ舟とありぬ

海士舟

とれとわは海士の船とありぬ

海士船

とれとわは海士の船とありぬ

あま小舟

こきうの船の腰れはま小舟里のありぬ

海士の船

とれとわは海士の船とありぬ

海士の船

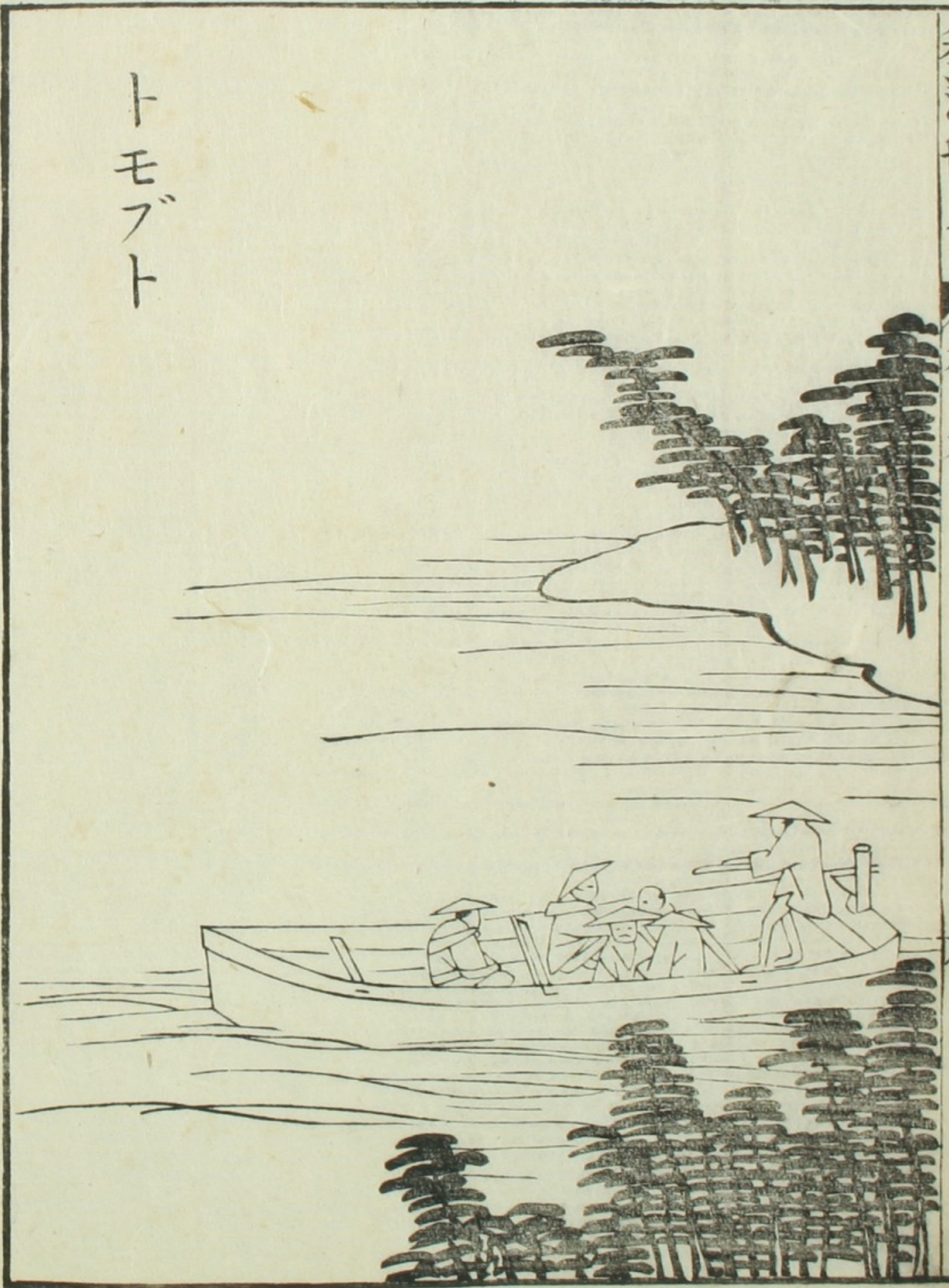
とれとわは海士の船とありぬ

海士船

とれとわは海士の船とありぬ

海士船

とれとわは海士の船とありぬ



トモブト

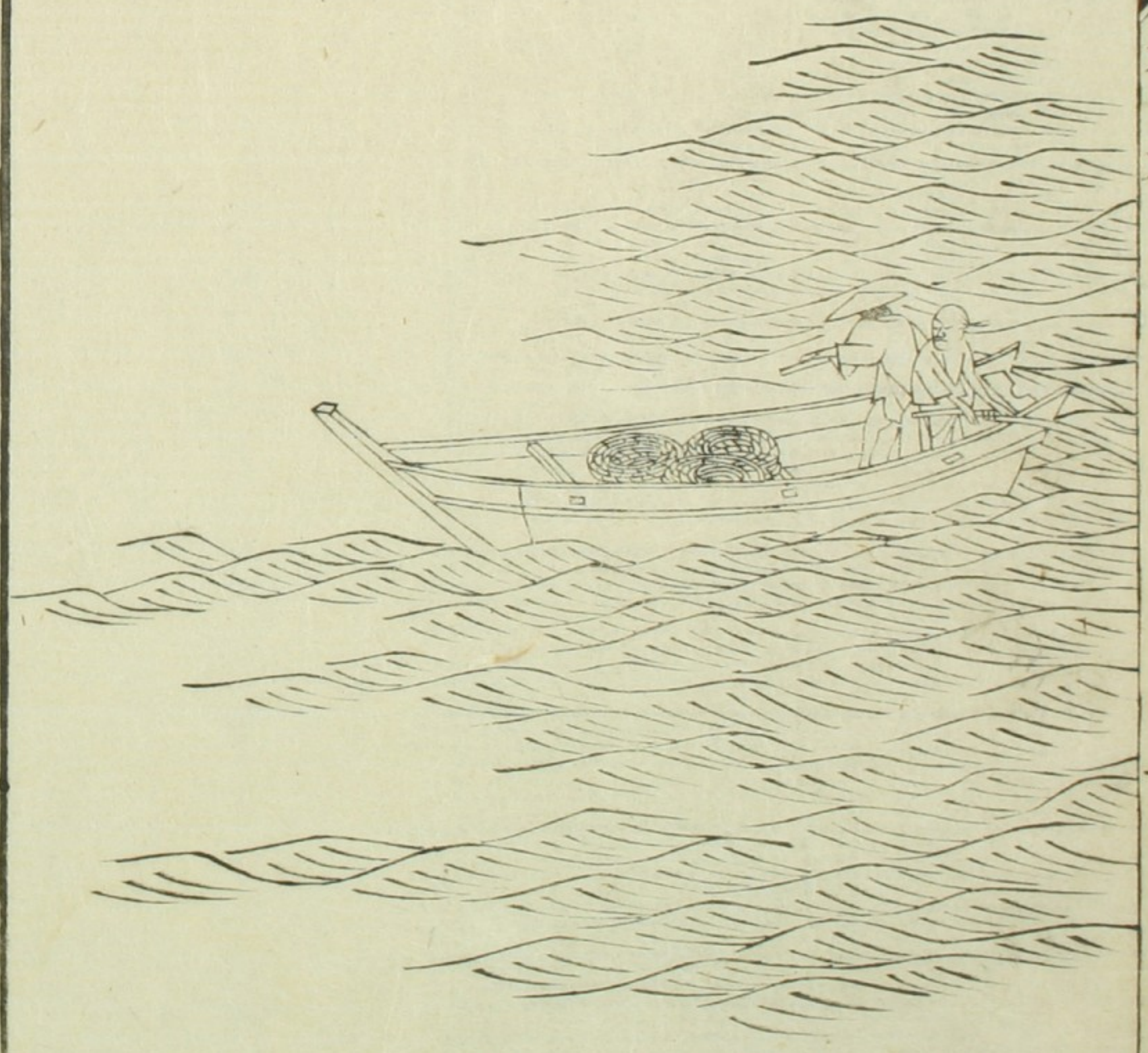
コタイキ 字未考コタ濁音也或別コト呼取故場の和漢船也表音くくくくくく板の上は貴本と申す

魚をたいておちり舟を渡すも其れおちる板のくくくく
なすく
松別名厚の楳船小舟なり是をあらうとて
案よ釣のくくくくくくくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
まハハく通音なり
後古今
いせのゆれはるくくくくくくくくくくくくくくくくくく

繩舟 紀別名ゆくくくくくくくくくくくくくくくくくく
いつり小船也是又あらうとてくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

繩舟



テクリ 手採船

小漁船也碓氷を引小さを網と手採網と云け網を引舟有り又手採と云け又川舟伏入舟有と後と云又船中にも引りテクリの小艇を碓氷の押舟はよ〜おを手採よ〜と云

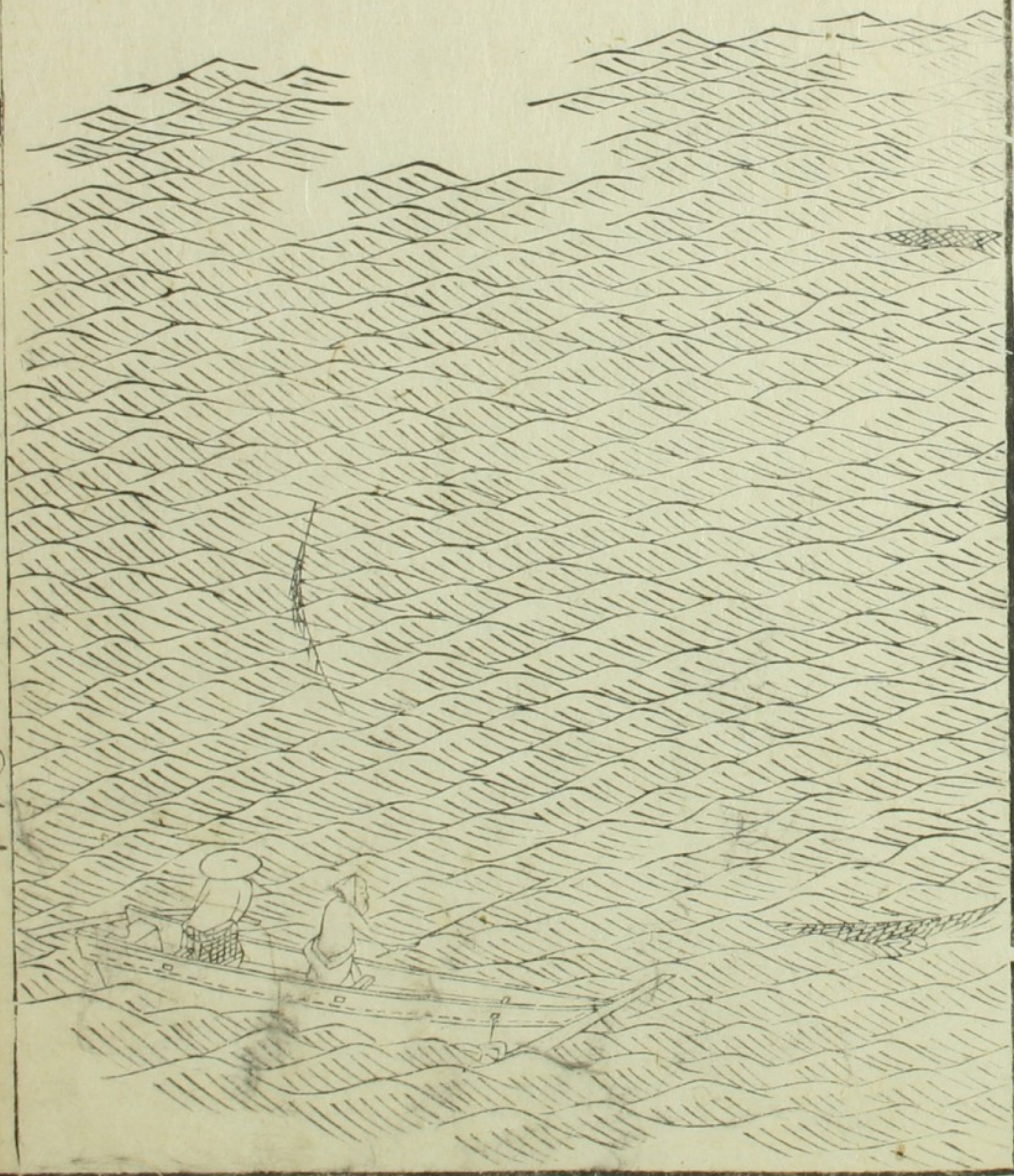
アクリ 網採船

合衆船用よゆり引り手採舟の網のつけ繩を網採船と云まのちと云〜と云り舟と後り

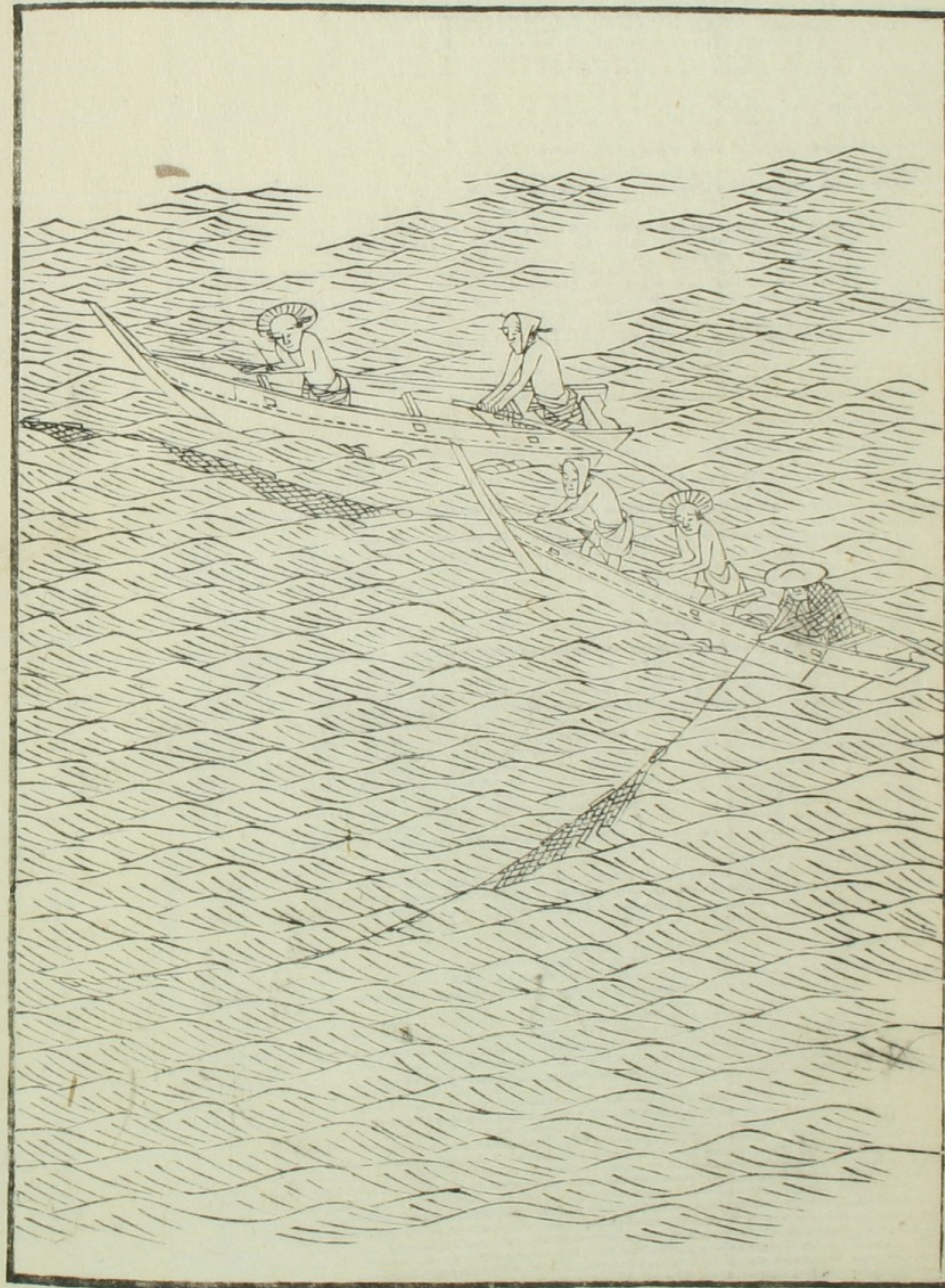
カニコ

字未考因州船名也あり池と云とも船有りゆへ船山と云小艇三四人乗〜毎は漁獲〜又美と云は用廻船の船間と云カニコひきと云りカニコと云は古語小舟の〜と云者ちと云〜今も因州の方と云小漁船と云てカニコ舟と云

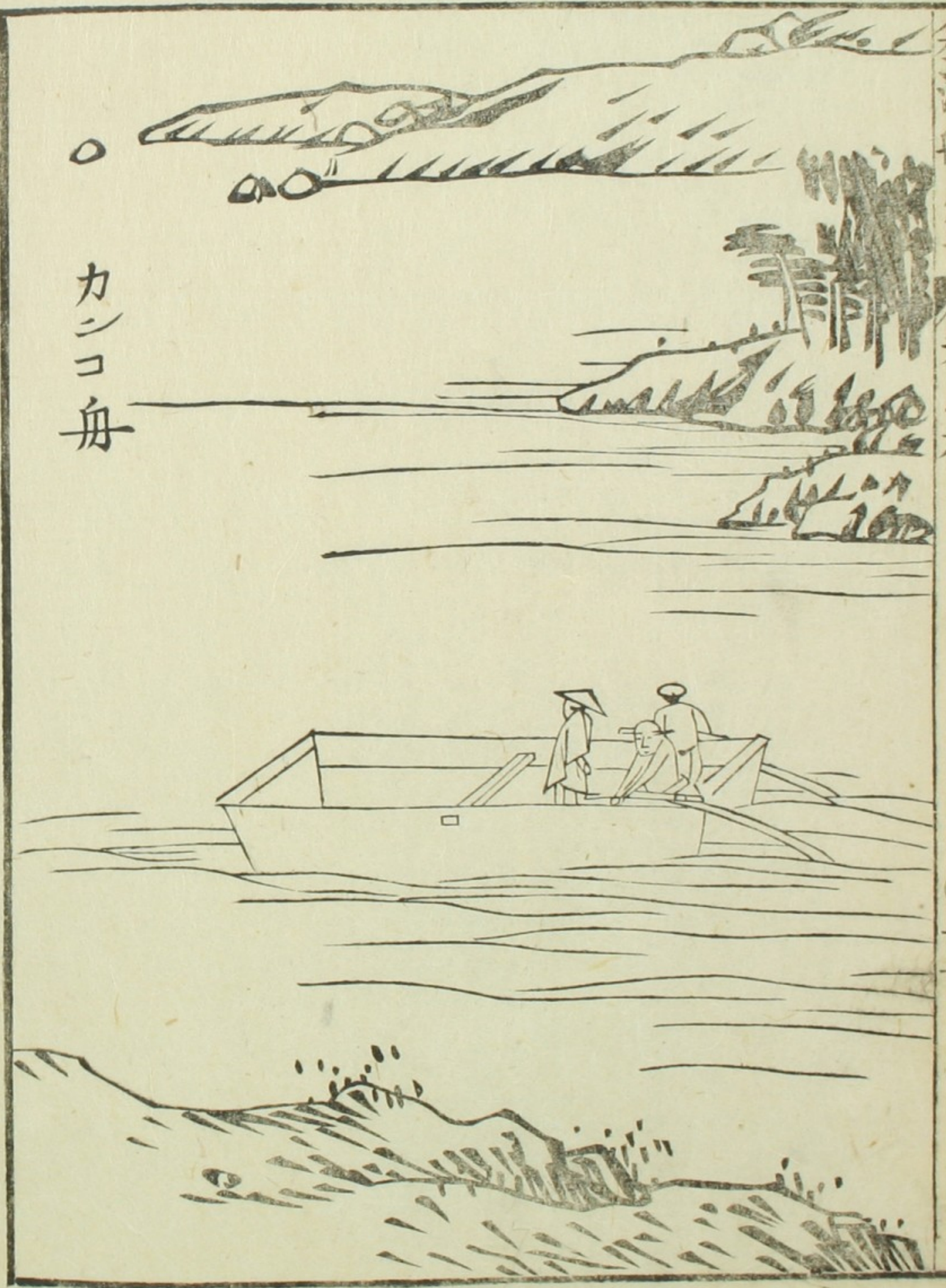
采網之圖



和漢公明集 卷之六



和漢公明集 卷之六



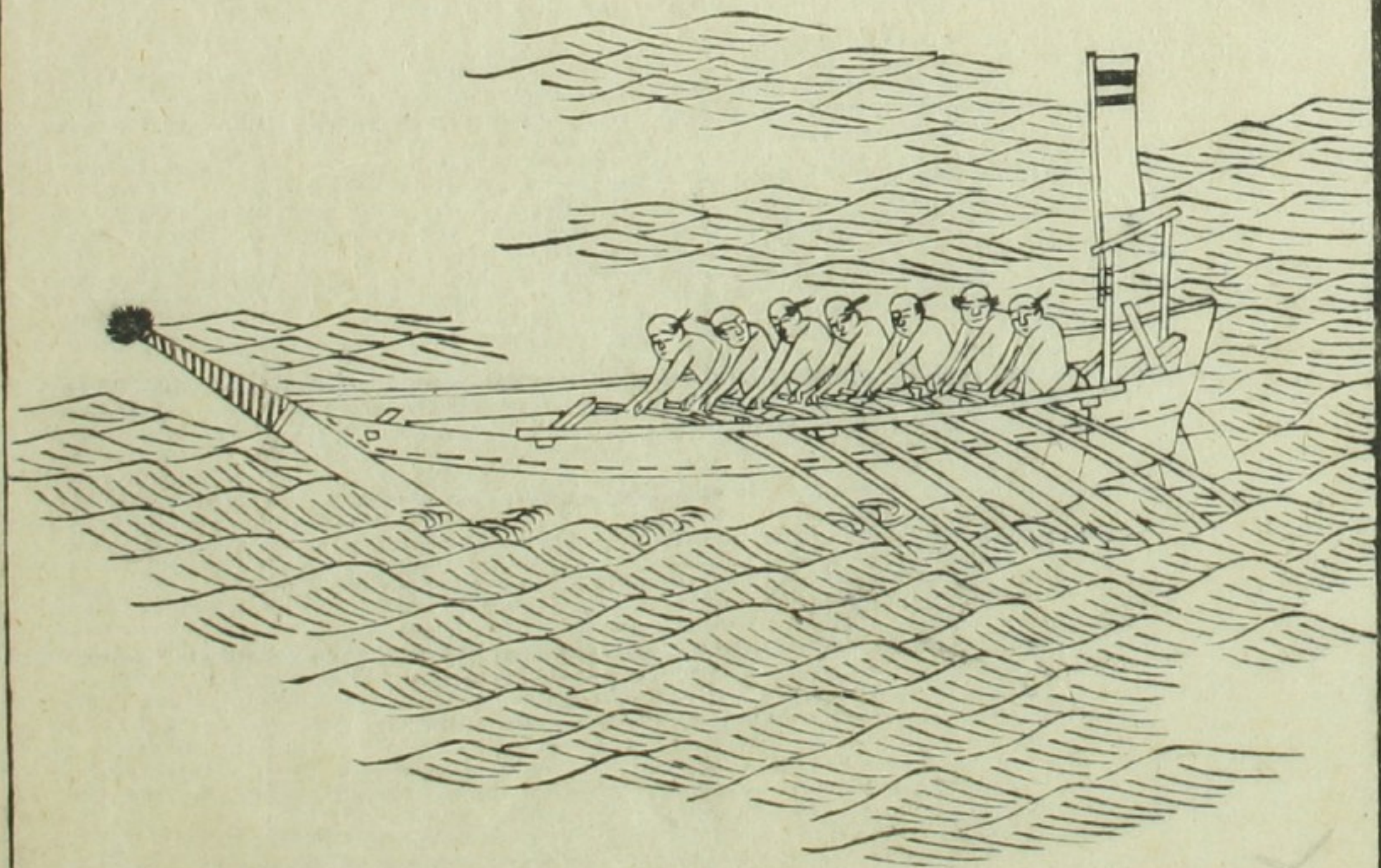
カニコ舟

獨木舟ウツホフ子

星槎勝覽セイサキョウラン曰蕪門ソモシレ峇刺國バシコクの民タミを細
して生ナマと云イハ船フネよヨ一ヒト一ヒトはハきキ七シチ帆フタを

そり海ウミはハいてイてテ多オホきキ川カハくクといイりリ又マタ獨ウツ木ホ舟フネ全タツ
本ホ舟フネ並ナリはハりリ合アヒ衆シユ雜ザツ用ヨウ輪リン船センとト才サイ白ハク暎ヨウはハ白ハク空クウ中チュウ
のノ木キ為ナリ舟フネ也ナリ是コト列レツ内ネ木キをヲ割エリくク舟フネとシてシるル也ナリいハつツれレもモうウつ
ろロふフひヒうウろロふフひヒとト列レツ内ネ又マタ老ラウ工コウのノ規キはハきキきキりリ元ゲン孫ソン
のノ比ヒ小コ船セン東トウ國クニはハ淺シヤク者モノすス於オ船センのノ舟フネ好ヨクまマよヨのノくク
おオろロりリつツらラひヒさサらラ高タカ海ウミよりヨリ引ヒキくク楳ヒ列レツ對タイするスはハ也ナリ
へヘゆユ一ヒト舟フネをヲ大オホ木キをヲ二ニツツはハ割エリくク割エリくク者モノ二ニツツ
とト上ウヘ流ナガくク一ヒト艘フネとシてシるル也ナリ是コト獨ウツ木ホ舟フネ也ナリ
赤アカ石イシのノ丸マル木キ舟フネとシてシるル也ナリ八ヤチ艘フネのノ獨ウツ木ホ舟フネ也ナリ

鯨舟



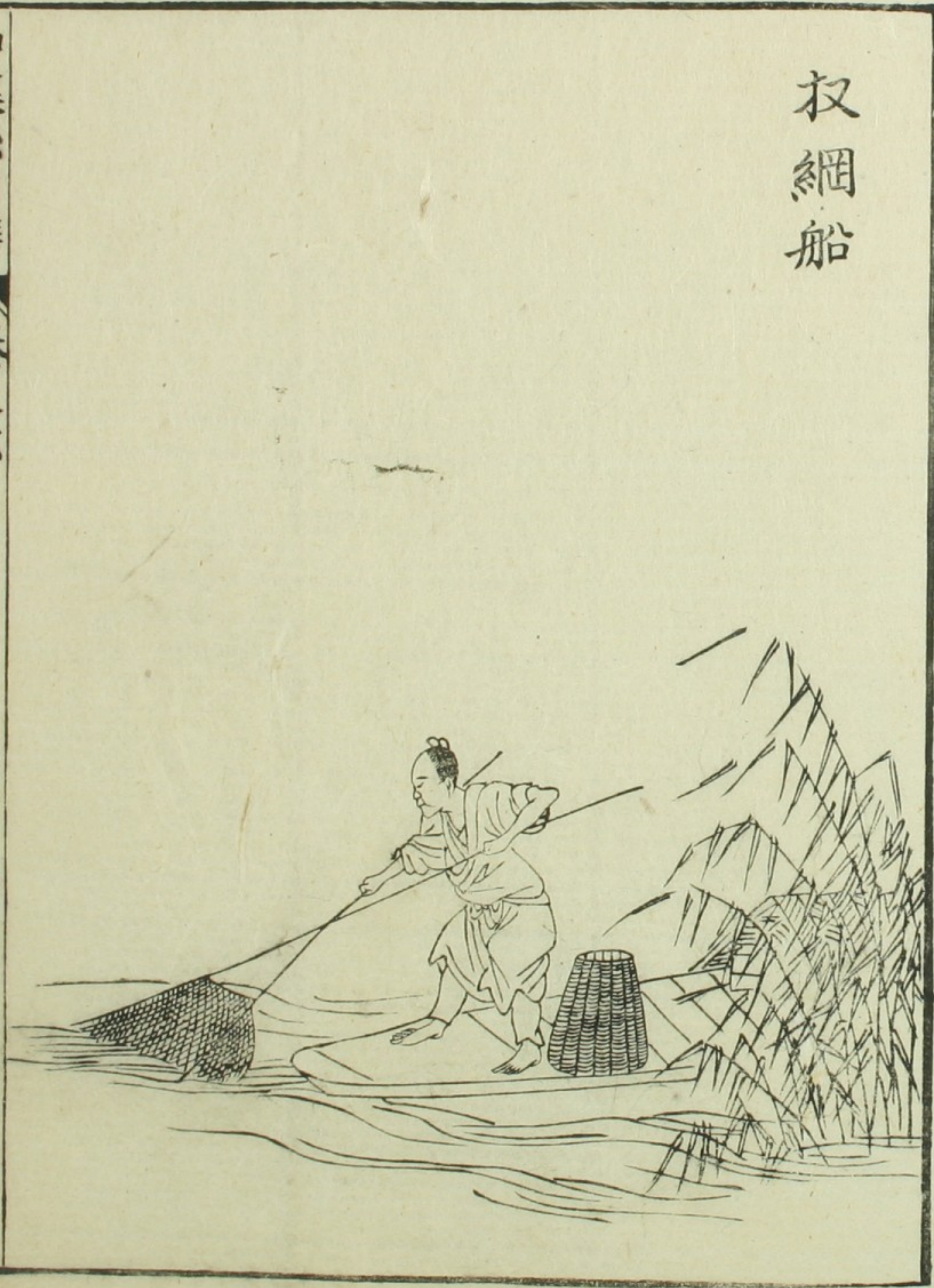
ウツホ舟



船網船



叔網船



張絲網



絲網船

駕使不過三人而風帆迅駛人亦堪用

剪網船

亦合二隻為一舍船雖狹小第一迅駛

えそ舟

蝦夷の舟藤原の舟もかしら

我々の舟は紙の舟に似たりと云ふは舟の舟に似たり

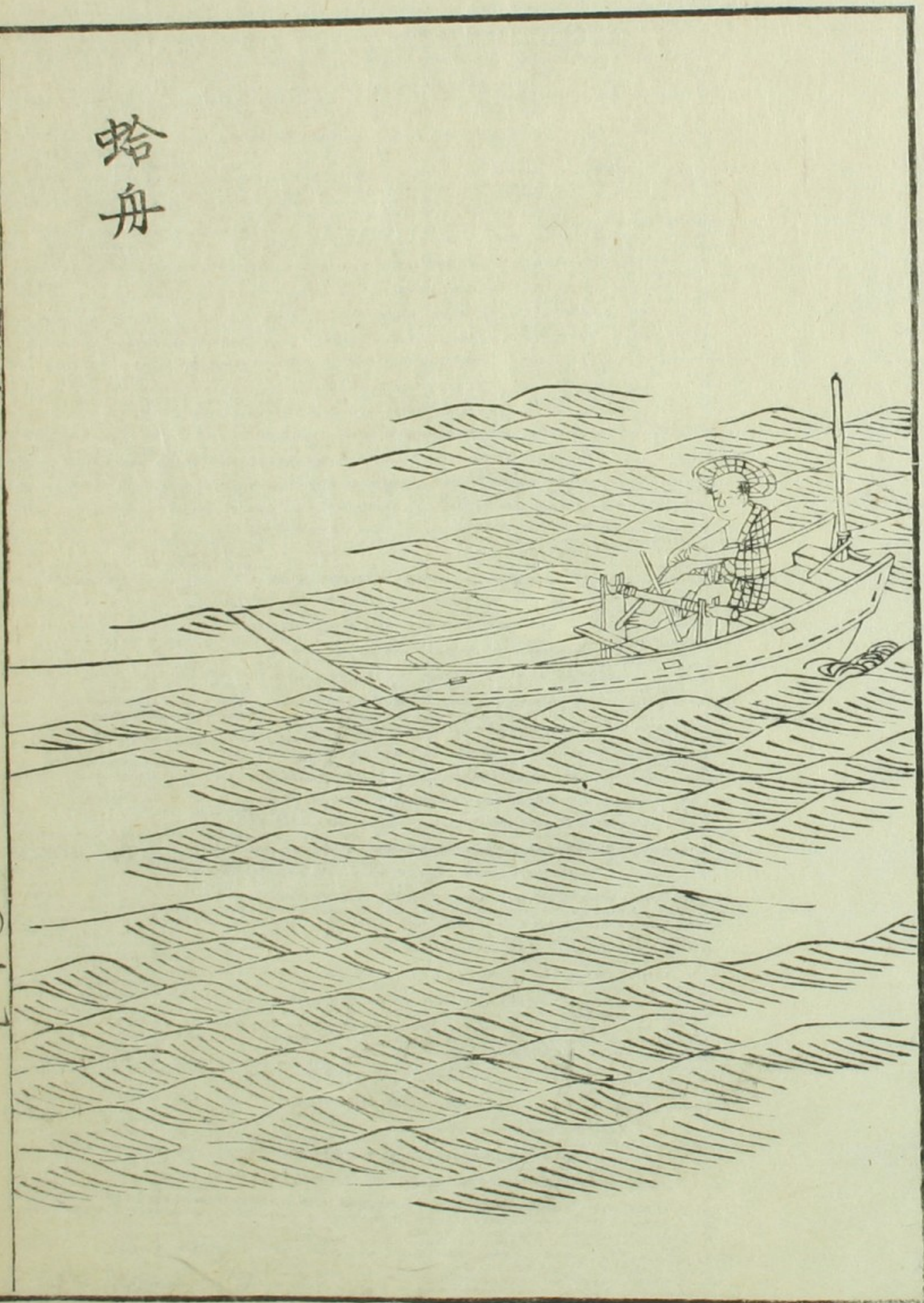
石花舟

石花舟は舟の舟に似たりと云ふは舟の舟に似たり

規舟

規舟は舟の舟に似たりと云ふは舟の舟に似たり

蛤舟



和漢雜考卷六

注網船



和漢雜考卷六

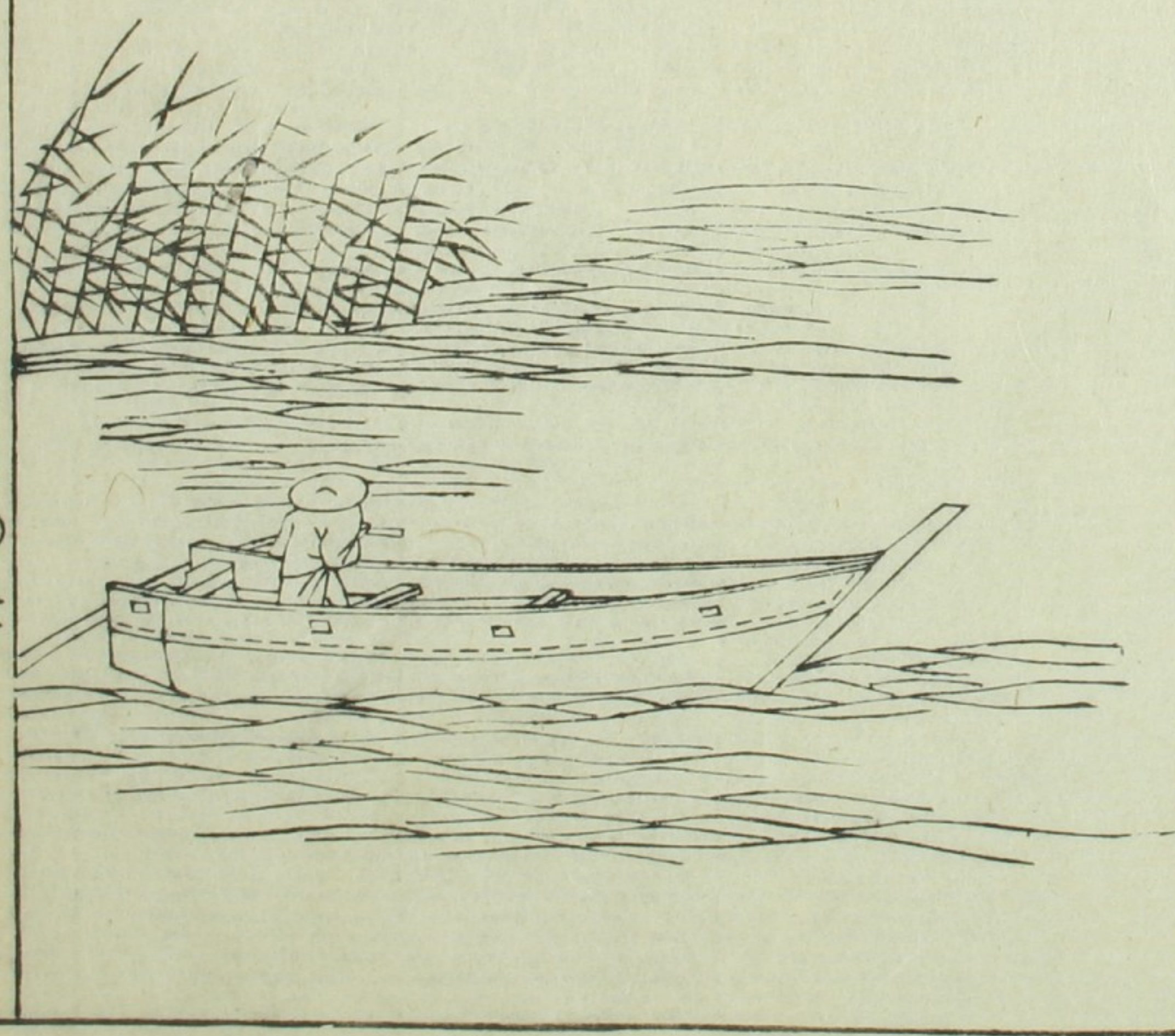
蛤舟 ハニク

小漁船也後を更池は蛤舟といひり蛤をよむの舟也
今松別川にあり蛤をよむ小舟は車船をいひり
注網をおりしと舟を海にまわし車船をよむてを
引くをいひり

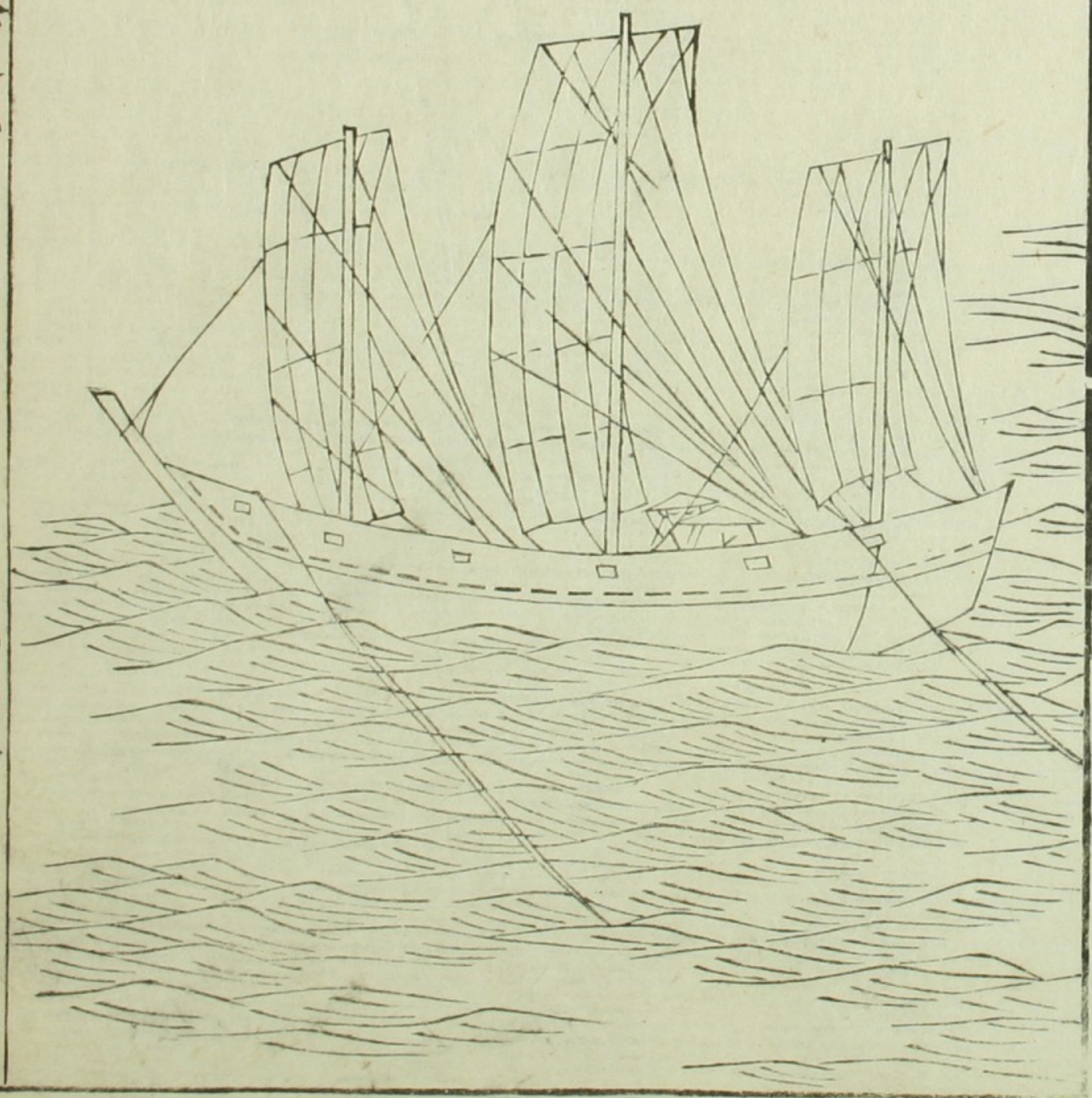
鳥貝船 トリカイ

又鳥蛤と申松別川に鳥貝の仲は多くいひり
貝をよむをいひり舟をよむと申す舟は
して極小の舟とよめり舟をよむは鳥貝の舟
他邦は有とをきりしは鳥貝をよむ舟は又も也
舟の中船をよむは舟をよむ舟は又も也
よむは順風は帆をよむは帆をよむ舟は又も也
帆送帆あり 舟船三桅の舟は舟の

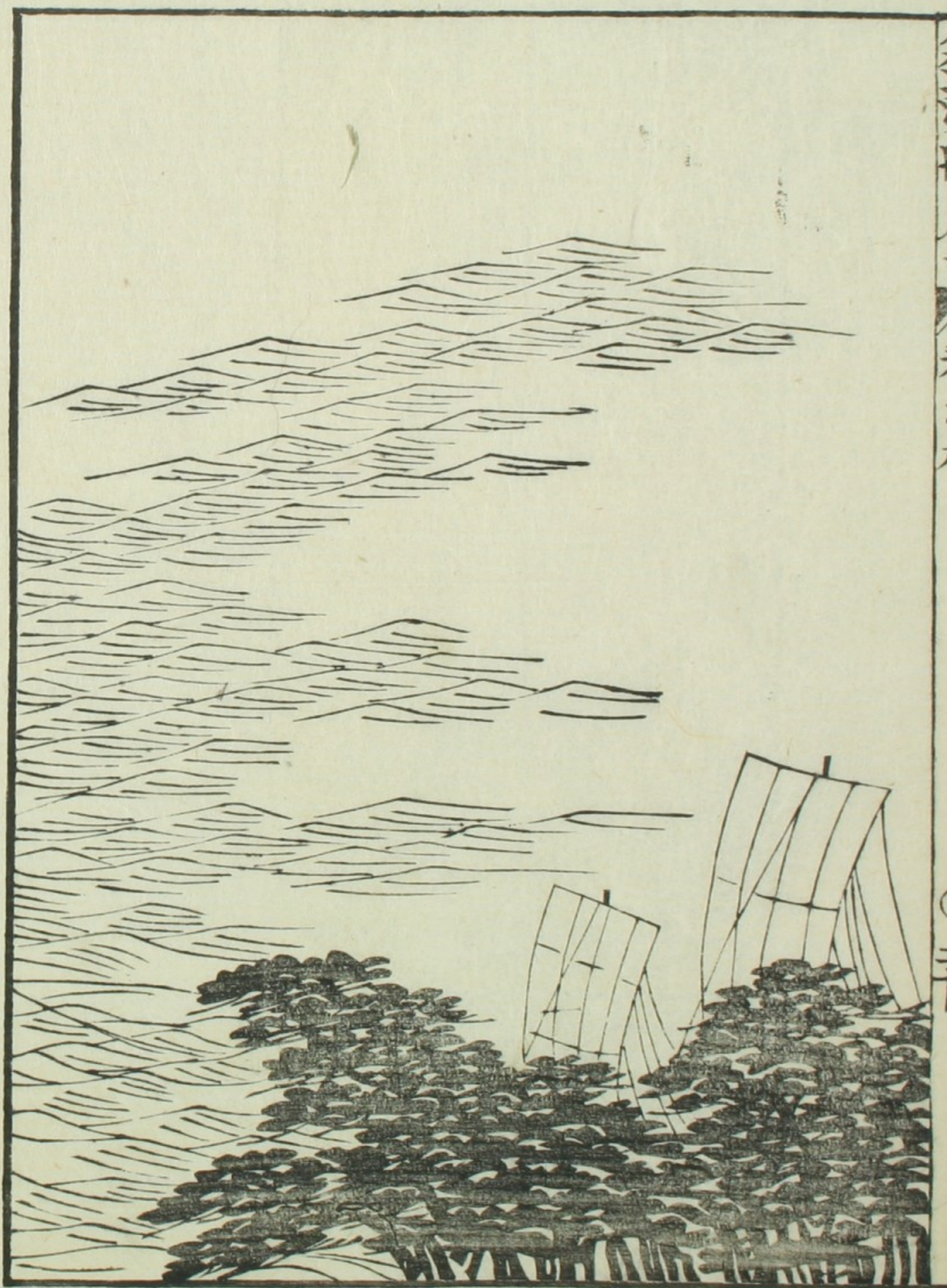
鳥貝船



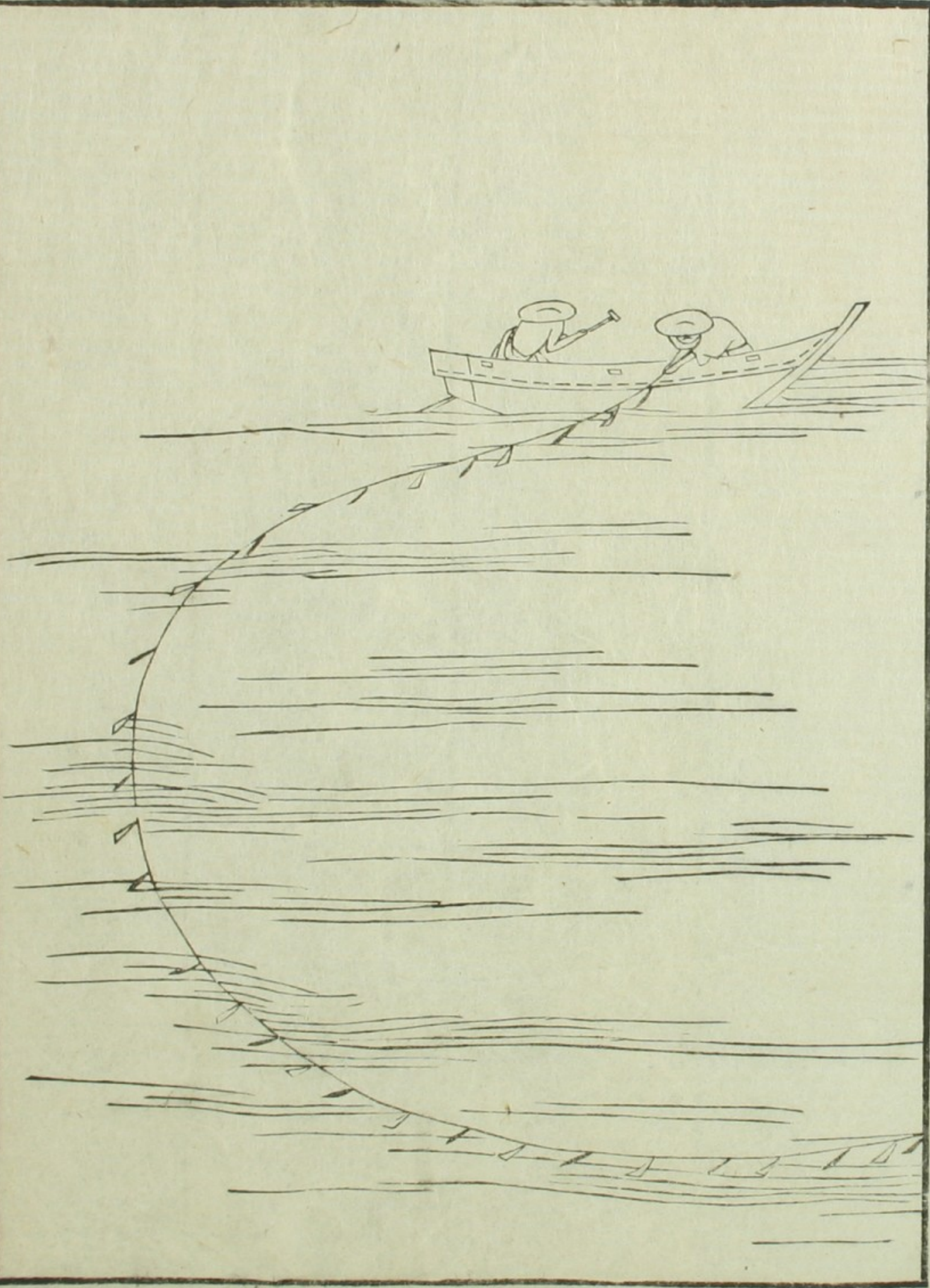
鳥貝船



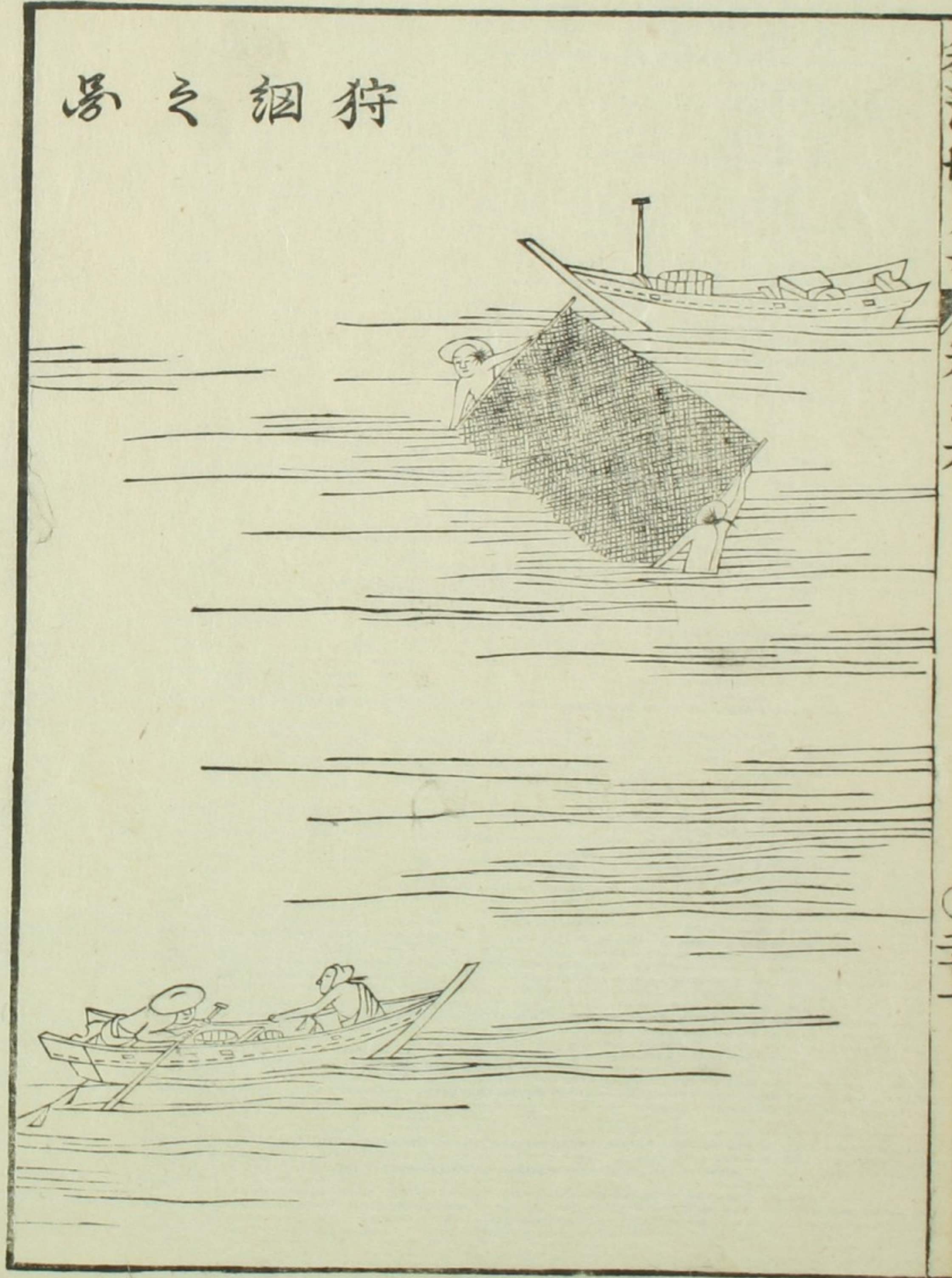
和漢公船集 卷六



和漢公船集 卷六



狩之網



鳥嘴船



鷓鴣船

一名水老鴉スイナラア一櫓ロ二櫓シヤウ或ハ二櫓といつり是ら
ふいを用とるへり 本邦にも東國におほく

山川よありみお小船なり 鷓鴣船毎舟を
よめり鷓鴣をつりて兼ととの舟たせ舟を用鷓鴣
純列の鷓鴣を用といふり又川舟の船鷓鴣と云船の意

鷓鴣

玉子

大井川之船のうりほのそへんたや波のうりそ

鷓鴣船

新夜舟

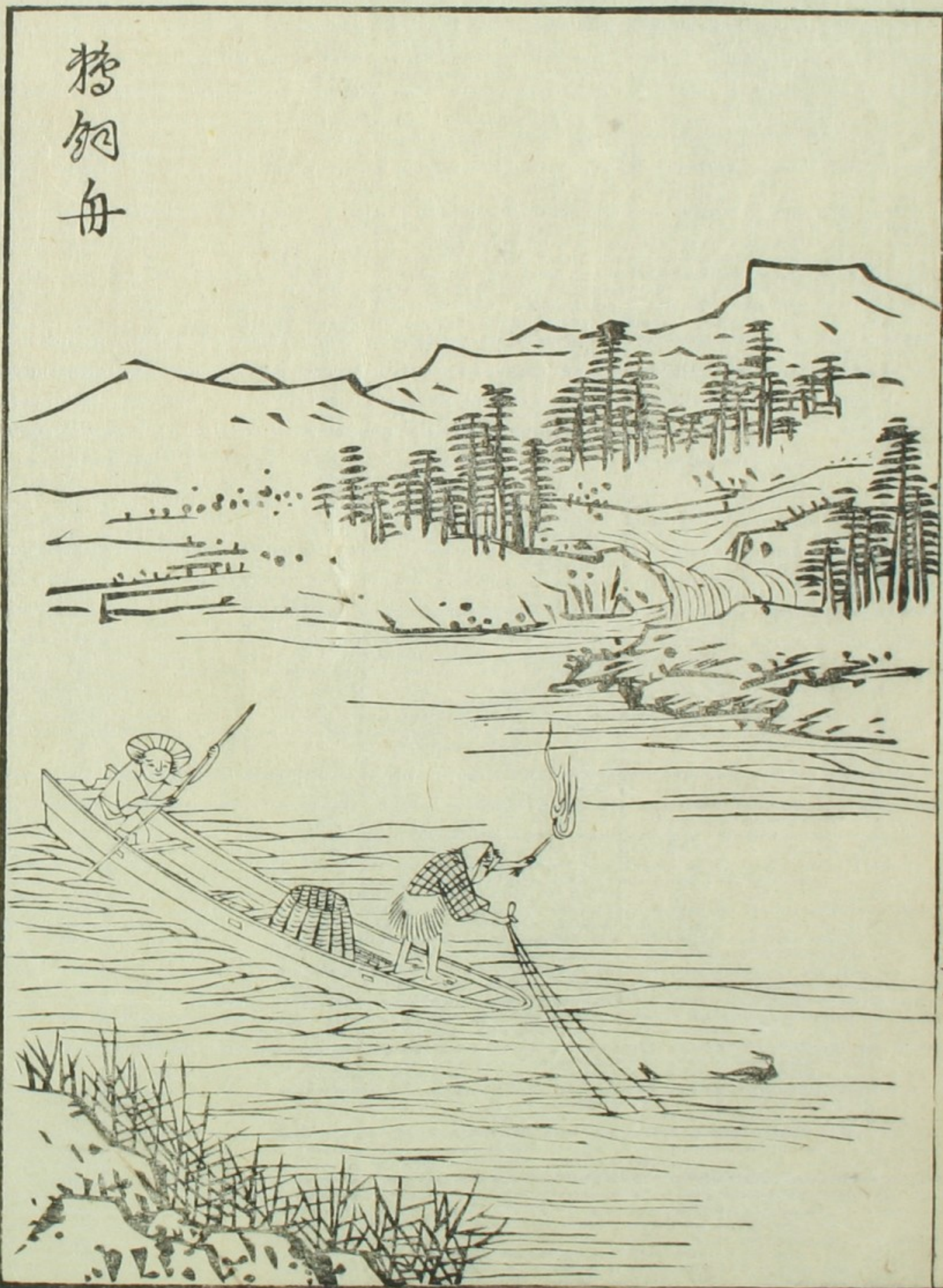
大井河うりさうけ鷓鴣の舟いせよ夏の上をりそらん

鷓鴣

丈夫

大井川ちらせもすかすか鷓鴣は海をくさるうり

持釣舟



坐罾船

坐罾和名毛知阿美或人曰池塘江ぬの中又舟
を維或ハ架をつくりて漁人箕居して是を引取

らるといへり持網と云別萩川舟なり源川又源界を
漁船と云こゝにありて罾をたきおもすくく魚

をとる者なり

萩川舟

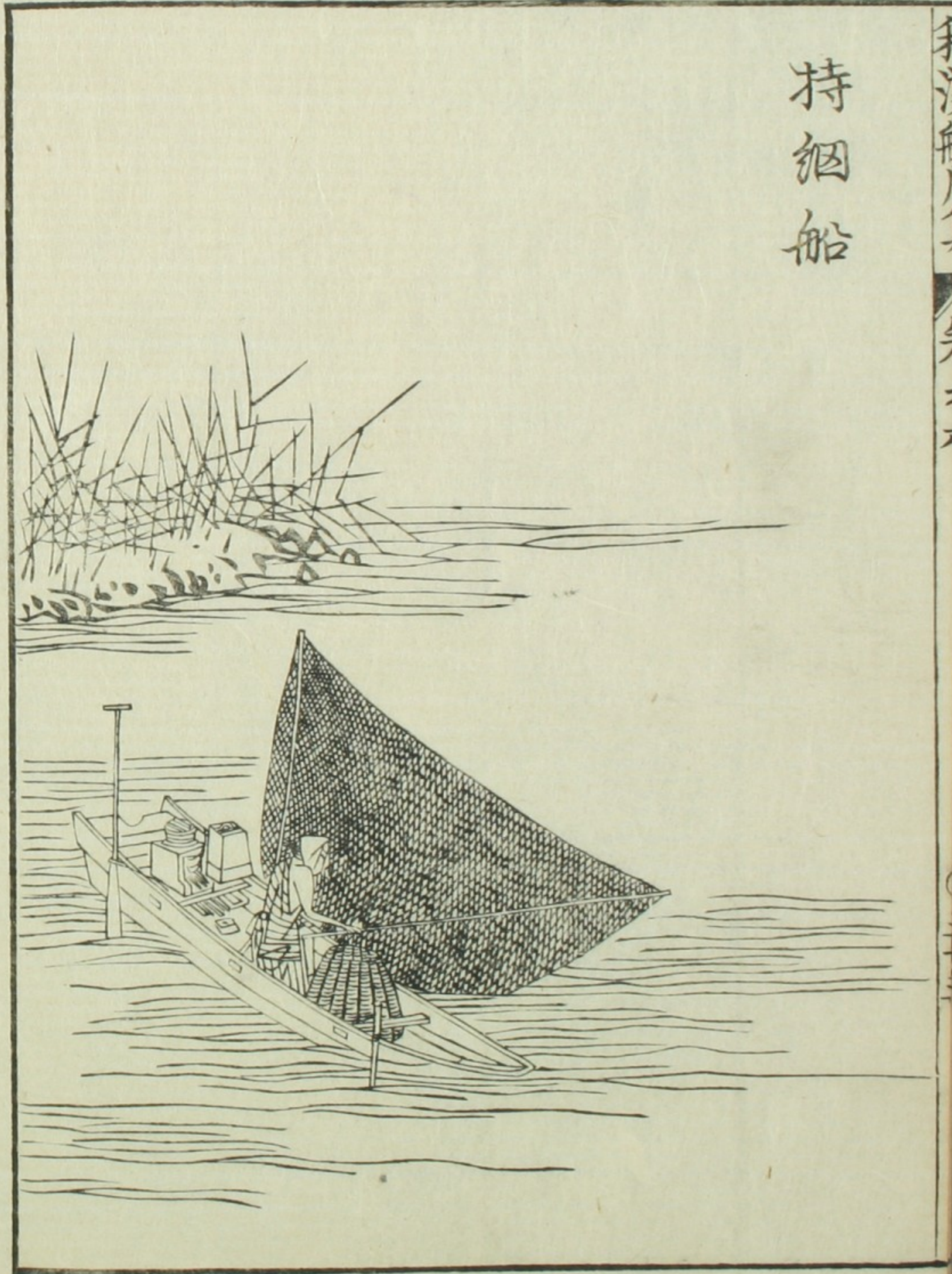
夫木 萩川舟ともを罾の光ハ藤よむ魚の取もつるなり
後之法師

打艦艘

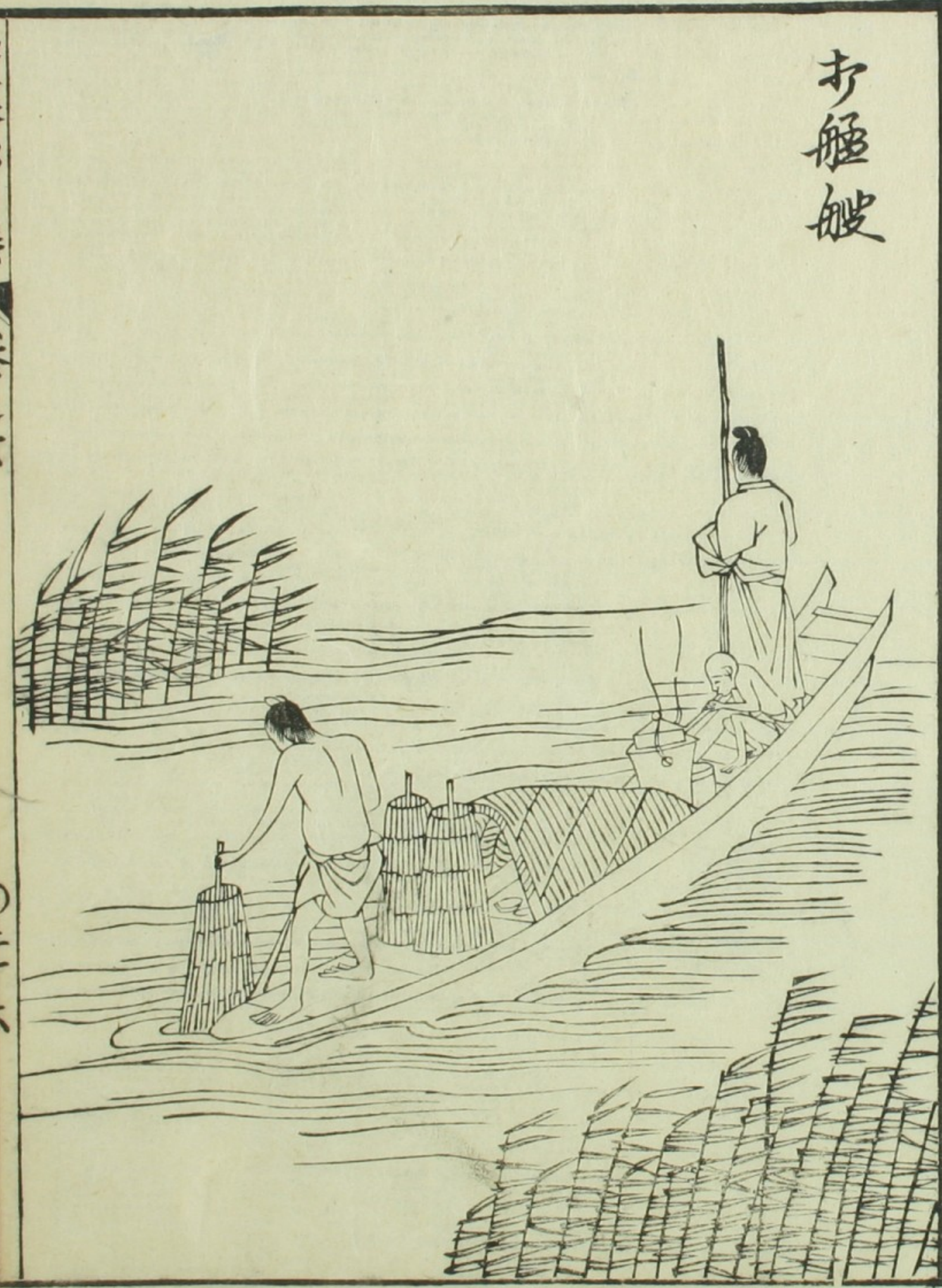
ニヤ固會云編細竹為麓其口織茂為蓋有鬚
從口漸約而至鬚使魚能入而不能出といへり

是を羽子の舟或人曰艦艘ハ漁船の名是又さく
魚を打る魚の字畧せらる今云字偈と云へり

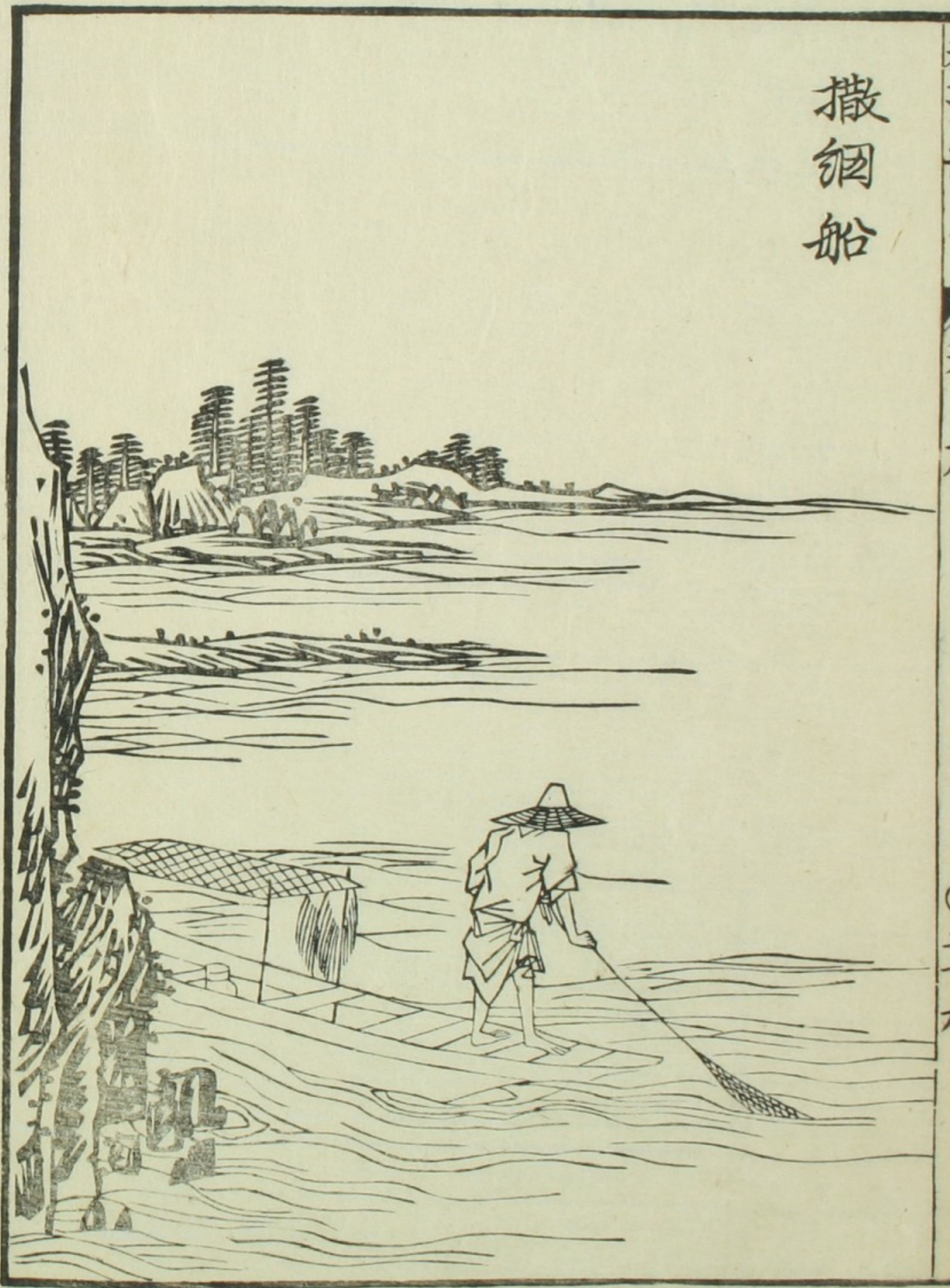
持網船



打艇艘



撒網船



舟漁用集 卷之六

二十六

網抄舟



舟漁用集 卷之六

二十六

罨罩舟

字彙曰罨從上掩之網也或謂之撒網

和名宇知阿美江波池川よあく毛と用小船子
して網をもちて魚をとらふ也今唐網船と云網舟
舟と名一人船の首小舟と云網を舟一人と云に舟て
掉さる毛と梅子と云或ハ口ツ足見屋と云て天
幕と張遊具と用

又本
あまの船のたよりつらつら網のあつとまきの船あそびり
後には
年乃ゆ網の子繩れらちんふむとのさかけぬ日なり

和漢船用集卷第六終

